

今年度で11回目を迎える当イベントは県内の学生ボランティア団体等が一同に集まり、かながわセンターと協働して行う若年層献血推進イベントです。

【目的】

様々なジャンルでボランティア活動を行っている学生が、イベントを通じて交流し、学生自身が主体となって運営していくことで、学生がボランティア活動の幅を広げるとともに、献血への理解を促し、学生自身が同世代である若年層に献血の必要性を伝え広めていくことを目的とする。

【内容】

- ・ボランティア団体活動紹介ブース
- ・献血バスの配車(参加学生および来場者対象)※昨年度実績
- ・FM公開生放送
- ・県内プロスポーツチームによるアトラクション
- ・高校生演奏団体のパフォーマンス
- ・緊急車両の展示(こども撮影会)
- ・学生合同企画(献血紹介ブース、手形アート、スタンプラリー、手話ソング等)



受付人数	200mL	400mL	採血協力計
85名	12名	47名	59名

【実施日・場所】

平成26年10月18日(土)10時～16時 日本丸メモリアルパーク(横浜市)

【参加大学】

10大学13団体 ※昨年度は8大学11団体 当日スタッフ数172名

【後援】

神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市 他

【イベントまでの活動】

- ・月1回、横浜にてイベント準備のためのミーティングの実施
- ・学生企画の交流会や献血勉強会の実施
- ・プロサッカーチームでの献血推進イベントなどへの学生参加



▲イベントミーティング、サッカーチームでのイベントの様子

【効果】

学生の継続的な協力基盤の確立

◆大学献血およびイベント献血での応援

参加大学のほとんどが献血実施大学であるため、イベント後も、各大学献血の周知や広報など継続的に協力いただくことができた。また、献血を実施していない女子大学や短期大学等の学生においても、献血ルームや様々なイベントへのボランティア参加につなげることができた。



◆学生主体の献血勉強会の実施

近年、参加学生合同企画の中に「献血ブース」が組み込まれ、学生が主体的に血液センターの見学会や、献血担当学生がイベント参加学生に対して事前に講義を行う献血勉強会などを実施した。



◆イベント当日の献血協力(若年層献血者の確保)

当日会場で実施する献血は、参加学生たちが多数協力する。学生たちが当日の献血目標数を決め、その達成のために一般への声掛けのみならず学生自身も献血に参加する体制を築くことができた。

